

製品名: CD89 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08480**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	FCAR
別名	FCAR; CD89; Immunoglobulin alpha Fc receptor; IgA Fc receptor; CD89
遺伝子 ID	2204.0
SwissProt ID	P24071
免疫原	抗血清はヒト FCAR の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

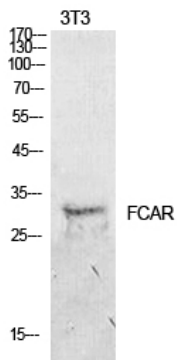
背景

この遺伝子は免疫グロブリン遺伝子スーパーファミリーに属し、IgA の Fc 領域に対する受容体をコードしています。この受容体は、好中球、単球、マクロファージ、好酸球などの骨髄系細胞の表面に存在する膜貫通糖タンパク質で、病原体に対する免疫応答を媒介

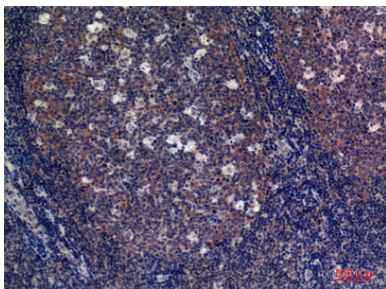
します。IgA オプソニン化標的と相互作用し、貪食作用、抗体依存性細胞傷害活性、炎症性メディエーターの放出促進など、いくつかの免疫防御プロセスを誘導します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、代替産物: 追加のアイソフォームが存在するようです、機能: 免疫グロブリン α の Fc 領域に結合します。サイトカイン産生を含む複数の機能を媒介する。類似性: 2つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。サブユニット: Fc イプシロン RI ガンマ 2 受容体と会合し、ガンマ 2 のチロシンリン酸化を誘導する。組織特異性: 血液と粘膜骨髄細胞で発現が異なる。単球はアイソフォーム A.1、アイソフォーム A.2、アイソフォーム A.3 を発現するのに対し、肺胞マクロファージはアイソフォーム A.1 とアイソフォーム A.2 を発現するが、表面には1つのアイソフォームのみを発現する。、

研究分野

画像データ



CD89 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された